

Q. 今後の町民討議会議は

A. より参加、議論しやすいものに



やまもと りょうすけ

山本亮介 議員

YAMAMOTO Ryosuke

キラメキ事業

3月定例会

質疑あれこれ

討論・審議結果

一般質問

町民討議会議は、協働のまちづくりに対する意識向上の機会とすることや、町政に対して従来サイレントマジョリティであった多様な町民の意見を反映することを目的として、2011年から10年間、開催されている。

❓ 無作為抽出による参加者と熟議の反復を10年続け、町民のまちづくりの参加意識と行動に結びつけている自治体は全国的に見ても珍しい。10年間積み重ねてきた町民討議会議の意義は。また、そこで出された意見をどのような形で町政に反映してきたか。

総務部長

延べ2万人の方に参加のご案内をさせていただいたこと、405人の方にご参加いただいたことは、大変意義がある。また、参加者の中から新たなまちづくりの担い手として、NPO法人「豊山町まちづくりサポーター」が生まれ、まちづくり活動を行って

いただいていることは、町にとって大変ありがたいことである。

❓ これまでの討議会議でいただいた意見の反映の例として、「コンビニへのAED設置、暮らしの便利帳外国語版の作成、航空館boonの魅力向上として「子ども向けのなりきり撮影ポイント」の設置などがある。

❓ 10年かけて定着した町民討議会議を今後どのように発展させようと考えているか。

総務部長

これまでご参加された方の中から「いろいろな世代の方と話ができてよかった」「視野を広げることができた」「テーマを絞り深く討議したら、良い提案が出ると思う」「30代、40代の参加が少ない」などのご意見をいただいた。こうしたご意見を踏まえ、より参加、議論しやすい町民討議会議を目指していく。

Q. 給食の異物混入は

A. フードスライサーのベルト

❓ 2月2日、新栄小学校の給食での異物混入の経緯について、改めて説明を。

教育委員会事務局長

❓ 煮物に数ミリ程のゴム樹脂が混入した。原因を調査したところ、給食センターのフードスライサーに装着しているベルトの樹脂であると判明した。フードスライサー内のベルトに野菜の切りくずが絡み、ベルトの表面がこすれ混入した。

❓ 2月の異物混入についてプレスリリースがされていない理由は。

教育委員会事務局長

❓ 調査の初期段階で異物によって健康被害が生じる恐れがないものと判断した。保護者、町議会議員に即日連絡し、公にしたことなどから、報道

発表までの必要性はないと判断した。

❓ 教育長は一連の異物混入、給食センターの対応について、どのように考えているか。

教育長

❓ 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、その拠点となる給食センターの役割は大きいものと考えている。今回のような異物混入は決して起きない事案である。改めてこれまで以上にきめ細かく注意をし、安全で安心なおいしい給食を児童生徒に提供できるように全力で努めていく。



▲安心安全な給食を